

# 『中玉トマトの高付加価値化と契約取引の推進』

< 環境保全型農業と省力化の実践 >



【産地名 八ヶ岳(山梨県)】  
産地データ (H16年)

対象品目名	トマト
産地の名称	八ヶ岳
作付面積	1ha
主要作付品種	華雅
作付農家戸数	20戸
出荷(販売)量	72t/年間
販売額	21百万円/年間
出荷(販売)先	全農東京センター 大和センター オギノ

## 1. 産地の概要と特徴及び課題

当該産地である高根町は、山梨県の北部に位置し、全国的にも日照時間が長く、標高600~1,200mの準高冷地の気象を利用し中玉トマトを栽培しています。当地区では、堆肥・油粕等の有機質を主体にした施肥基準、生育スケジュール別防除暦を部会において統一し、食味の向上・安心農産物の栽培に取り組んでいます。

対象品目の作型 (生育ステージ)												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作業		—	—	—	x	—	x	—	—	—	—	—
		定植			収穫(最盛)							

## 2. 産地改革計画の概要

策定対象品目名	中玉トマト	該町	北杜市(高根町)
策定年月	平成16年10月	当村	
策定主体名	梨北農業協同組合	市名	

### (1) 計画の全体概要(要旨)

生産農家の高齢化による産地としての規模縮小を打開するため、これまでの箱出荷と併せて、プラスチックコンテナ導入による出荷コストの削減とともに、出荷規格の簡素化による労力の軽減を図っています。また、化学農薬・化学肥料の削減率を上げ、安心なトマト生産に取り組み、付加価値の高い中玉トマト生産を推進しています。

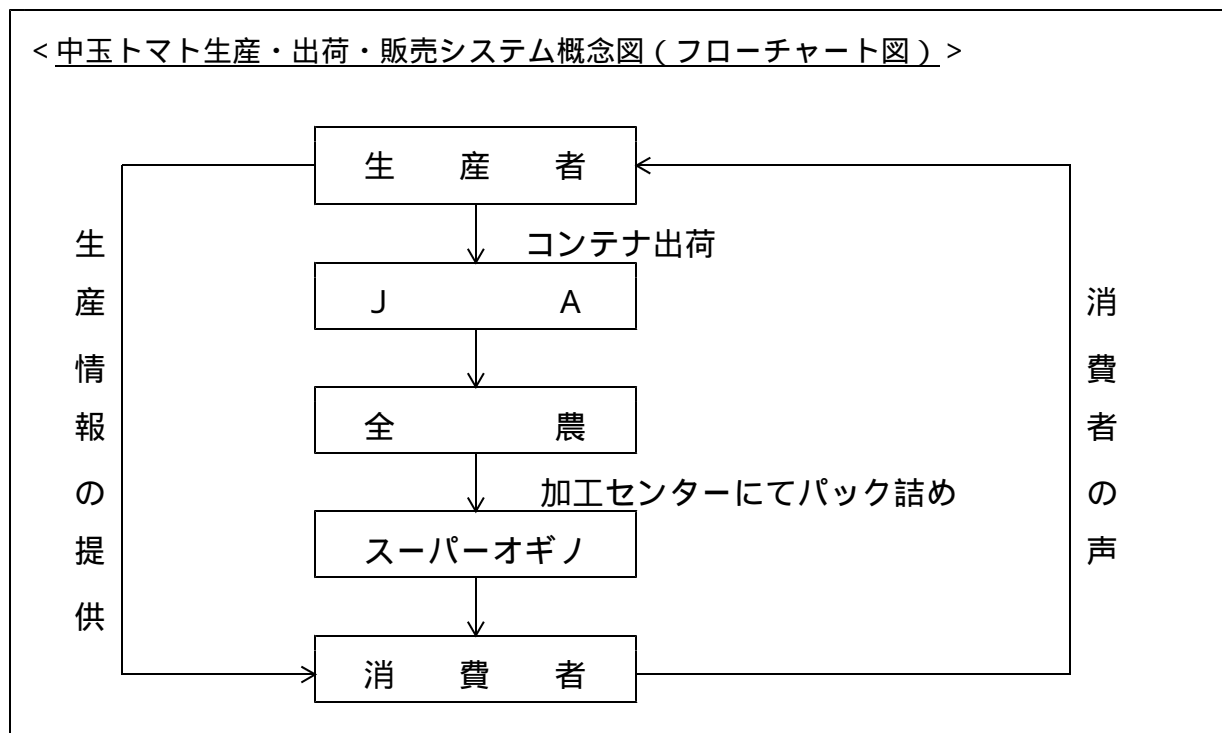
### (2) 具体的な目標

高付加価値化タイプ	農薬削減率アップ(対慣行栽培比50%削減) 化学肥料削減率アップ(対慣行栽培比90%削減)
契約取引タイプ	全量契約取引(90トン) コンテナの導入(2,000個) 等階級の簡素化(11階級 6階級)

### 3. 産地改革計画の実行状況とその成果

産地改革に取り組む中で、プラスチックコンテナを導入（2,000個）等階級の簡素化（11階級から4階級へ）等により出荷経費の削減を図るとともに、カラーチャートを導入し的確な色合わせによる高品質出荷を推進しています。また、堆肥導入による地力増進等により減農薬・減化学肥料栽培を実施するほか、「全農安心システム」の認証を取得し高付加価値化を図っています。現在、契約取引量は45t（平成15年度実績）ですが消費拡大のためのパンフレットを作成し、市場・スーパーへのPR活動等を実施し、目標の90t達成を目指しています。

#### 構造改革後の生産・出荷・販売システム概念図



#### 産地改革に係る補助事業等の実施状況（平成14年度以降）

##### 国庫補助事業

年度	事業名	事業主体名	事業内容	事業費	国庫補助金
14 15 16	輸入急増農産物対応特別対策事業	梨北農業協同組合	品質向上対策講習1回 青果物流通研修会2回 栽培技術研修会1回 協議会の開催3回 市場販売検討会4回 店頭PR2回 消費拡大リーフレット10,000部	(百万円) 1.0	(百万円) 0.5
15	野菜構造改革促進特別対策事業	梨北農業協同組合	プラスチックコンテナ2,000個 カラーチャート50枚 堆肥800kg	1.8	0.9
	生産振興総合対策事業				

##### 関連事業（取組等）

年度	事業（取組）名	事業主体名	事業（取組）内容	事業費	うち補助金

#### 4. 今後の課題とその取組方向

平成16年度は、減農薬・減化学肥料栽培を推進する中で、「全農安心システム」の認証を取得し、消費者に対しトレ - サビリティを明確化にしました。この認証の有効期限が1年であるため、今後も継続して認証を取得する予定です。また、コンテナ出荷の活用を高め、出荷コストの削減を図る予定です。

---

【特記事項】

--

## 産地改革・取組フォト



### < 県・問い合わせ先 >

山梨県峡北地域振興局農務部地域農政課

担当係名(氏名) 地域整備担当 藤川 裕

住所: 山梨県韮崎市本町4-2-

TEL: 0551-23-3079

### < 農協・問い合わせ先 >

梨北農協営農部

担当係名(氏名) 中澤 豊一

住所: 山梨県韮崎市一ツ谷1895番地

TEL: 0551-23-4570